

- 1 教育事業名 平成 25 年度 体験活動等普及啓発事業
「体験の風をおこそうフォーラム in 沖縄」
- 2 ね ら い 子どもたちの健やかな成長にとって、自然体験、社会体験、生活体験などの体験が、いかに重要であるかを、各分野の専門家が広く家庭や社会に発信する。
- 3 期 日 平成 25 年 10 月 19 日 (土)
- 4 場 所 沖縄青年会館
- 5 募集定員 100 名
- 6 参加人数 100 名
- 7 実施プログラムおよび講師
 - 基調講演
演題「感動体験が人をつくる、未来をつくる」
講師 平田大一 氏 (南島詩人 沖縄県文化振興会 理事長)
 - パネルディスカッション
テーマ「子どもの頃の体験の重要性と体験機会の提供」
パネリスト
 - ・ 開 (比嘉) 梨香 氏 (株式会社カルティベイト代表取締役 前沖縄県教育委員長)
 - ・ 張本文昭 氏 (沖縄キリスト教短期大学 准教授)
 - ・ 黒木義成 氏 (那覇市立金城小学校校長)コーディネーター
 - ・ 平野貴也 氏 (公立大学法人名桜大学 准教授)
- 8 事業の様子
【基調講演】



講師 平田大一 氏



県内の体験活動関係者が集いました



色々な手法でひきつけます



実際の指導法を学びます



コミュニケーションを高める手法



体験で学びが深くなります

【パネルディスカッション】



開梨香氏の発表（民間）



張本文昭氏の発表（学術経験者）



黒木義成氏の発表（学校現場）



コーディネーターの平野氏



お互いの意見をやり取りします



会場よりの提言

9 参加者の声

- ・子ども達に体験させることの重要性を知ることができました。テストの点のように変化が見えにくいですが、子どもの健全育成に必要なだということがわかりました。
- ・厳しい環境でも、工夫して子どもの健全な育成を目指し、子どもに必要な環境を情熱を持って活動されていることが知れて、参加してよかったです。
- ・社会のいろいろな立場の方々が集まって、子どもの健全育成について考える機会はとても大切だと思いました。この想いをそれぞれが周りに広げていく地道な活動が必要。
- ・たくさんの気づきがありました。体験→感動→人作り。いいですね。
- ・体験活動が子どもの心に生きる種子をまいている。大人として今できることを考えたい
- ・現在、体験活動を提供する側であるが、心が折れ、今後の事業についてどうしようか悩んでいるところであった。ディスカッションの中で、「少しずつ広げていくこと。継続すること」で体験を定着へつなげていくという勇気をもらった気がした。ありがとうございました。
- ・平田さんの講演で沖縄のビジョンともいえる体験学習の枠組みを聞いた後、各分野での実際を聞き、大変有意義な時間をすごせた。
- ・時間の制限があり残念。もっと深められたらと思う。

10 担当者所見

【成果】

- ・県内の様々な分野で体験活動をリードする講師が、実践的内容で講話やディスカッションを行ったことで、体験活動の良さや必要性が多くの参加者に理解されたと考える。
- ・体験活動の大切さを広げて生きたい」「地域やそれぞれの分野に持ち帰りたい」等の積極的な意見や感想がいくつもあり、普及・啓発活動の重要性を再認識できた。

【課題】

- ・各地域で活動する方々と実行委員会等を組織しさらに多くの参加呼びかけを行いたい。
- ・「ディスカッションの時間が短かった」、「質問の時間が欲しかった」などの要望があり、ゆとりを持った時間設定が課題である。